

## 【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	平成30年10月25日提出
【計算期間】	第2期中(自 平成30年1月27日至 平成30年7月26日)
【ファンド名】	eMAXIS マイマネージャー 1970s eMAXIS マイマネージャー 1980s eMAXIS マイマネージャー 1990s
【発行者名】	三菱UFJ国際投信株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 松田 通
【本店の所在の場所】	東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
【事務連絡者氏名】	伊藤 晃
【連絡場所】	東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
【電話番号】	03-6250-4740
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

## 1【ファンドの運用状況】

## 【eMAXIS マイマネージャー 1970s】

## (1)【投資状況】

平成30年 7月31日現在

(単位：円)

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	13,573,663	99.00
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		136,712	1.00
純資産総額		13,710,375	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

## (2)【運用実績】

## 【純資産の推移】

下記計算期間末日および平成30年7月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

(単位：円)

	純資産総額		基準価額 (1万口当たりの純資産価額)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1計算期間末日 (平成30年 1月26日)	12,568,006	12,568,006	10,555	10,555
平成29年10月末日	10,695,405		10,145	
11月末日	12,303,338		10,241	
12月末日	12,179,585		10,398	
平成30年 1月末日	12,424,265		10,411	
2月末日	12,253,764		10,118	
3月末日	12,278,297		9,985	
4月末日	12,681,087		10,181	
5月末日	12,879,023		10,108	
6月末日	13,098,860		10,116	
7月末日	13,710,375		10,285	

## 【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円

## 【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	5.55
第2中間計算期間	2.43

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

## 【eMAXIS マイマネージャー 1980s】

## （１）【投資状況】

平成30年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	13,151,759	99.00
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		132,685	1.00
純資産総額		13,284,444	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

## （２）【運用実績】

## 【純資産の推移】

下記計算期間末日および平成30年7月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 （1万口当たりの純資産価額）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間末日（平成30年 1月26日）	12,739,550	12,739,550	10,771	10,771
平成29年10月末日	10,285,546		10,205	
11月末日	11,440,674		10,326	
12月末日	12,296,567		10,525	
平成30年 1月末日	12,544,604		10,594	
2月末日	12,533,044		10,213	
3月末日	12,579,935		10,025	
4月末日	12,100,009		10,275	
5月末日	12,331,651		10,188	
6月末日	12,630,082		10,184	
7月末日	13,284,444		10,415	

## 【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円

## 【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	7.71
第2中間計算期間	3.11

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

## 【eMAXIS マイマネージャー 1990s】

## （1）【投資状況】

平成30年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	12,681,591	99.00
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		128,183	1.00
純資産総額		12,809,774	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

## （2）【運用実績】

## 【純資産の推移】

下記計算期間末日および平成30年7月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 （1万口当たりの純資産価額）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間末日 （平成30年 1月26日）	12,466,583	12,466,583	11,023	11,023
平成29年10月末日	13,815,887		10,323	
11月末日	11,921,715		10,450	
12月末日	11,715,345		10,671	
平成30年 1月末日	12,107,369		10,821	

2月末日	11,947,381		10,377
3月末日	11,933,606		10,053
4月末日	12,420,974		10,337
5月末日	12,122,249		10,207
6月末日	12,192,661		10,099
7月末日	12,809,774		10,415

## 【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円

## 【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	10.23
第2中間計算期間	5.16

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（参考）

## TOPIXマザーファンド

## 投資状況

平成30年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	日本	273,260,673,250	99.44
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		1,541,407,888	0.56
純資産総額		274,802,081,138	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

## その他の資産の投資状況

平成30年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	日本	1,555,720,000	0.57

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

## 外国株式インデックスマザーファンド

### 投資状況

平成30年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（％）
株式	アメリカ	228,427,422,545	63.02
	イギリス	23,882,535,613	6.59
	フランス	13,590,165,126	3.75
	ドイツ	13,216,158,454	3.65
	カナダ	13,186,655,552	3.64
	スイス	11,147,164,303	3.08
	オーストラリア	8,861,025,899	2.44
	オランダ	5,952,870,665	1.64
	香港	4,350,584,746	1.20
	スペイン	4,235,758,593	1.17
	スウェーデン	3,651,038,727	1.01
	イタリア	2,727,492,789	0.75
	デンマーク	2,358,099,252	0.65
	シンガポール	1,585,814,776	0.44
	ベルギー	1,495,735,701	0.41
	フィンランド	1,408,180,299	0.39
	ノルウェー	997,832,840	0.28
	アイルランド	720,421,867	0.20
	ルクセンブルグ	441,401,108	0.12
	イスラエル	384,158,141	0.11
	オーストリア	337,594,867	0.09
ニュージーランド	288,876,537	0.08	
ポルトガル	219,795,753	0.06	
小計		343,466,784,153	94.75
投資証券	アメリカ	6,275,577,914	1.73
	オーストラリア	603,921,432	0.17
	イギリス	288,187,342	0.08
	オランダ	282,803,663	0.08
	フランス	216,352,095	0.06
	香港	203,935,917	0.06
	シンガポール	138,698,120	0.04
	カナダ	64,397,633	0.02

	小計	8,073,874,116	2.23
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		10,939,005,829	3.02
純資産総額		362,479,664,098	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

#### その他の資産の投資状況

平成30年 7月31日現在

(単位:円)

資産の種類	建別	国/地域	時価合計	投資比率(%)
株価指数先物取引	買建	アメリカ	7,406,293,023	2.04
	買建	カナダ	397,205,625	0.11
	買建	ドイツ	1,637,234,937	0.45
	買建	オーストラリア	460,655,514	0.13
	買建	イギリス	757,185,895	0.21
	買建	スイス	339,122,704	0.09

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

#### 新興国株式インデックスマザーファンド

##### 投資状況

平成30年 7月31日現在

(単位:円)

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率(%)
株式	香港	16,156,290,701	21.90
	韓国	9,882,869,385	13.39
	アメリカ	8,529,131,861	11.56
	台湾	8,332,215,055	11.29
	インド	6,341,096,766	8.59
	ブラジル	4,584,244,986	6.21
	南アフリカ	4,512,485,448	6.12
	メキシコ	2,137,947,762	2.90
	マレーシア	1,678,092,108	2.27
	タイ	1,611,112,127	2.18
	インドネシア	1,379,798,951	1.87
	ポーランド	857,851,284	1.16
	チリ	789,232,655	1.07
	フィリピン	714,342,310	0.97
カタール	596,696,326	0.81	

	トルコ	473,543,841	0.64
	アラブ首長国連邦	398,957,970	0.54
	コロンビア	340,883,524	0.46
	ギリシャ	208,247,055	0.28
	ハンガリー	193,915,778	0.26
	チェコ	139,845,851	0.19
	小計	69,858,801,744	94.68
投資証券	南アフリカ	202,384,506	0.27
	メキシコ	62,625,545	0.08
	トルコ	10,401,047	0.01
	小計	275,411,098	0.37
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		3,652,287,108	4.95
純資産総額		73,786,499,950	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

#### その他の資産の投資状況

平成30年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国/地域	時価合計	投資比率（%）
株価指数先物取引	買建	アメリカ	3,366,911,098	4.56
	買建	香港	262,752,308	0.36

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

#### 日本債券インデックスマザーファンド

##### 投資状況

平成30年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（%）
国債証券	日本	462,128,194,100	82.80
地方債証券	日本	31,294,655,375	5.61
特殊債券	日本	36,550,871,081	6.55
社債券	日本	24,812,390,920	4.45
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		3,336,521,773	0.59
純資産総額		558,122,633,249	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

## その他の資産の投資状況

平成30年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国/地域	時価合計	投資比率（%）
債券先物取引	買建	日本	1,506,900,000	0.27

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

## 外国債券インデックスマザーファンド

## 投資状況

平成30年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（%）
国債証券	アメリカ	51,175,113,767	43.38
	フランス	12,090,790,078	10.25
	イタリア	10,884,582,498	9.23
	ドイツ	8,149,791,154	6.91
	イギリス	8,093,155,283	6.86
	スペイン	7,044,824,331	5.97
	ベルギー	3,020,658,826	2.56
	オランダ	2,571,452,800	2.18
	オーストラリア	2,490,742,144	2.11
	カナダ	2,393,628,036	2.03
	オーストリア	1,769,925,857	1.50
	メキシコ	999,115,108	0.85
	アイルランド	956,415,162	0.81
	フィンランド	761,983,058	0.65
	ポーランド	758,650,177	0.64
	南アフリカ	710,831,404	0.60
	デンマーク	708,396,673	0.60
	マレーシア	544,257,232	0.46
	シンガポール	453,676,928	0.38
	スウェーデン	451,358,909	0.38
ノルウェー	260,424,244	0.22	
スイス	155,736,140	0.13	
	小計	116,445,509,809	98.70
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		1,531,141,952	1.30
純資産総額		117,976,651,761	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

## 新興国債券インデックスマザーファンド

### 投資状況

平成30年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（％）
国債証券	メキシコ	1,869,039,886	10.20
	ブラジル	1,814,925,895	9.91
	ポーランド	1,613,655,307	8.81
	インドネシア	1,580,208,178	8.62
	南アフリカ	1,553,553,611	8.48
	タイ	1,384,377,795	7.56
	コロンビア	1,364,688,029	7.45
	ロシア	1,360,061,398	7.42
	マレーシア	981,366,724	5.36
	トルコ	841,303,424	4.59
	ハンガリー	796,804,487	4.35
	チェコ	777,198,139	4.24
	ペルー	513,868,255	2.80
	チリ	461,546,060	2.52
	ルーマニア	455,893,649	2.49
	アルゼンチン	151,299,706	0.83
	フィリピン	42,243,602	0.23
	ウルグアイ	33,905,379	0.19
ドミニカ共和国	18,048,014	0.10	
	小計	17,613,987,538	96.13
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		708,797,296	3.87
純資産総額		18,322,784,834	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

## 東証REIT指数マザーファンド

### 投資状況

平成30年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（％）
投資証券	日本	22,479,071,350	98.53

コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		334,807,355	1.47
純資産総額		22,813,878,705	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

#### その他の資産の投資状況

平成30年 7月31日現在

(単位:円)

資産の種類	建別	国/地域	時価合計	投資比率(%)
不動産投信指数先物取引	買建	日本	370,938,000	1.63

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

#### MUAM G-REITマザーファンド

#### 投資状況

平成30年 7月31日現在

(単位:円)

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率(%)
投資証券	アメリカ	14,024,395,077	70.63
	オーストラリア	1,340,396,161	6.75
	イギリス	1,113,142,240	5.61
	シンガポール	658,929,189	3.32
	オランダ	598,900,576	3.02
	フランス	480,144,965	2.42
	香港	463,501,988	2.33
	カナダ	362,351,830	1.82
	スペイン	204,856,823	1.03
	ベルギー	162,931,791	0.82
	ニュージーランド	83,134,283	0.42
	ドイツ	55,639,879	0.28
	アイルランド	50,251,316	0.25
	イタリア	22,419,448	0.11
イスラエル	12,373,982	0.06	
	小計	19,633,369,548	98.88
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		222,293,313	1.12
純資産総額		19,855,662,861	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

## 2【設定及び解約の実績】

## 【eMAXIS マイマネージャー 1970s】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	12,344,717	437,993	11,906,724
第2中間計算期間	1,920,113	523,922	13,302,915

## 【eMAXIS マイマネージャー 1980s】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	11,830,880	2,883	11,827,997
第2中間計算期間	1,908,453	996,581	12,739,869

## 【eMAXIS マイマネージャー 1990s】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	14,491,112	3,181,802	11,309,310
第2中間計算期間	1,908,458	937,796	12,279,972

### 3【ファンドの経理状況】

1 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)ならびに同規則第38条の3および第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

2 当ファンドは、当中間計算期間より中間財務諸表を作成しているため、中間損益及び剰余金計算書に係る比較情報は記載しておりません。

3 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間(平成30年1月27日から平成30年7月26日まで)の中間財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により中間監査を受けております。

## 【eMAXIS マイマネージャー 1970s】

## (1)【中間貸借対照表】

(単位:円)

	第1期 [平成30年 1月26日現在]	第2期中間計算期間末 [平成30年 7月26日現在]
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	146,423	195,298
親投資信託受益証券	12,442,228	13,539,224
未収入金	32,301	-
流動資産合計	12,620,952	13,734,522
<b>資産合計</b>	<b>12,620,952</b>	<b>13,734,522</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	32,822	1,684
未払受託者報酬	2,410	4,062
未払委託者報酬	17,594	29,789
その他未払費用	120	198
流動負債合計	52,946	35,733
<b>負債合計</b>	<b>52,946</b>	<b>35,733</b>
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	11,906,724	13,302,915
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金( )	661,282	395,874
(分配準備積立金)	603,927	579,809
元本等合計	12,568,006	13,698,789
<b>純資産合計</b>	<b>12,568,006</b>	<b>13,698,789</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,620,952</b>	<b>13,734,522</b>

## (2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第2期中間計算期間 自 平成30年 1月27日 至 平成30年 7月26日
営業収益	
有価証券売買等損益	254,759
営業収益合計	254,759
営業費用	
支払利息	1
受託者報酬	4,062
委託者報酬	29,789
その他費用	198
営業費用合計	34,050
営業利益又は営業損失( )	288,809
経常利益又は経常損失( )	288,809
中間純利益又は中間純損失( )	288,809
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額( )	14,564
期首剰余金又は期首欠損金( )	661,282
剰余金増加額又は欠損金減少額	35,923
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	35,923
剰余金減少額又は欠損金増加額	27,086
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	27,086
分配金	-
中間剰余金又は中間欠損金( )	395,874

## （３）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	---

（中間貸借対照表に関する注記）

	第1期 [平成30年 1月26日現在]	第2期中間計算期間末 [平成30年 7月26日現在]
1. 期首元本額	10,000,000円	11,906,724円
期中追加設定元本額	2,344,717円	1,920,113円
期中一部解約元本額	437,993円	523,922円
2. 受益権の総数	11,906,724口	13,302,915口

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第2期中間計算期間 自 平成30年 1月27日 至 平成30年 7月26日
該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	第1期 [平成30年 1月26日現在]	第2期中間計算期間末 [平成30年 7月26日現在]
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありませぬ。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券            売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引            デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品</p>	<p>(1) 有価証券</p> <p>同左</p> <p>(2) デリバティブ取引</p> <p>同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品</p>

区分	第1期 [平成30年 1月26日現在]	第2期中間計算期間末 [平成30年 7月26日現在]
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>	<p>同左</p> <p>同左</p>

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第1期 [平成30年 1月26日現在]	第2期中間計算期間末 [平成30年 7月26日現在]
1口当たり純資産額	1.0555円	1.0298円
(1万口当たり純資産額)	(10,555円)	(10,298円)

## 【eMAXIS マイマネージャー 1980s】

## (1)【中間貸借対照表】

(単位:円)

	第1期 [平成30年 1月26日現在]	第2期中間計算期間末 [平成30年 7月26日現在]
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	147,298	167,035
親投資信託受益証券	12,611,898	13,161,801
流動資産合計	12,759,196	13,328,836
資産合計	12,759,196	13,328,836
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	-	1,678
未払受託者報酬	2,350	4,011
未払委託者報酬	17,176	29,400
その他未払費用	120	196
流動負債合計	19,646	35,285
負債合計	19,646	35,285
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	11,827,997	12,739,869
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金( )	911,553	553,682
(分配準備積立金)	843,687	777,360
元本等合計	12,739,550	13,293,551
純資産合計	12,739,550	13,293,551
負債純資産合計	12,759,196	13,328,836

## (2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

第2期中間計算期間	
自 平成30年 1月27日	
至 平成30年 7月26日	
営業収益	
有価証券売買等損益	358,657
営業収益合計	358,657
営業費用	
支払利息	1
受託者報酬	4,011
委託者報酬	29,400
その他費用	196
営業費用合計	33,608
営業利益又は営業損失( )	392,265
経常利益又は経常損失( )	392,265
中間純利益又は中間純損失( )	392,265
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額( )	62,496
期首剰余金又は期首欠損金( )	911,553
剰余金増加額又は欠損金減少額	44,591
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	44,591
剰余金減少額又は欠損金増加額	72,693
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	72,693
分配金	-
中間剰余金又は中間欠損金( )	553,682

## （ 3 ）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	---

（中間貸借対照表に関する注記）

	第1期 [平成30年 1月26日現在]	第2期中間計算期間末 [平成30年 7月26日現在]
1. 期首元本額	10,000,000円	11,827,997円
期中追加設定元本額	1,830,880円	1,908,453円
期中一部解約元本額	2,883円	996,581円
2. 受益権の総数	11,827,997口	12,739,869口

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第2期中間計算期間 自 平成30年 1月27日 至 平成30年 7月26日
該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	第1期 [平成30年 1月26日現在]	第2期中間計算期間末 [平成30年 7月26日現在]
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありませぬ。	同左
2. 時価の算定方法	<p>（ 1 ）有価証券            売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>（ 2 ）デリバティブ取引            デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>（ 3 ）上記以外の金融商品</p>	<p>（ 1 ）有価証券</p> <p>同左</p> <p>（ 2 ）デリバティブ取引</p> <p>同左</p> <p>（ 3 ）上記以外の金融商品</p>

区分	第1期 [平成30年 1月26日現在]	第2期中間計算期間末 [平成30年 7月26日現在]
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>	<p>同左</p> <p>同左</p>

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第1期 [平成30年 1月26日現在]	第2期中間計算期間末 [平成30年 7月26日現在]
1口当たり純資産額	1.0771円	1.0435円
(1万口当たり純資産額)	(10,771円)	(10,435円)

## 【eMAXIS マイマネージャー 1990s】

## (1)【中間貸借対照表】

(単位：円)

	第1期 [平成30年 1月26日現在]	第2期中間計算期間末 [平成30年 7月26日現在]
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	156,637	167,726
親投資信託受益証券	12,341,586	12,711,195
未収入金	-	33,238
流動資産合計	12,498,223	12,912,159
資産合計	12,498,223	12,912,159
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	10,649	42,040
未払受託者報酬	2,508	3,920
未払委託者報酬	18,358	28,695
その他未払費用	125	187
流動負債合計	31,640	74,842
負債合計	31,640	74,842
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	11,309,310	12,279,972
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金( )	1,157,273	557,345
(分配準備積立金)	1,001,297	924,517
元本等合計	12,466,583	12,837,317
純資産合計	12,466,583	12,837,317
負債純資産合計	12,498,223	12,912,159

## (2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

第2期中間計算期間	
自 平成30年 1月27日	
至 平成30年 7月26日	
営業収益	
有価証券売買等損益	570,841
営業収益合計	570,841
営業費用	
受託者報酬	3,920
委託者報酬	28,695
その他費用	187
営業費用合計	32,802
営業利益又は営業損失( )	603,643
経常利益又は経常損失( )	603,643
中間純利益又は中間純損失( )	603,643
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額( )	39,569
期首剰余金又は期首欠損金( )	1,157,273
剰余金増加額又は欠損金減少額	55,048
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	55,048
剰余金減少額又は欠損金増加額	90,902
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	90,902
分配金	-
中間剰余金又は中間欠損金( )	557,345

## （ 3 ）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	---

（中間貸借対照表に関する注記）

	第1期 [平成30年 1月26日現在]	第2期中間計算期間末 [平成30年 7月26日現在]
1. 期首元本額	10,000,000円	11,309,310円
期中追加設定元本額	4,491,112円	1,908,458円
期中一部解約元本額	3,181,802円	937,796円
2. 受益権の総数	11,309,310口	12,279,972口

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第2期中間計算期間 自 平成30年 1月27日 至 平成30年 7月26日
該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	第1期 [平成30年 1月26日現在]	第2期中間計算期間末 [平成30年 7月26日現在]
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありませぬ。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券            売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引            デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品</p>	<p>(1) 有価証券</p> <p>同左</p> <p>(2) デリバティブ取引</p> <p>同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品</p>

区分	第1期 [平成30年 1月26日現在]	第2期中間計算期間末 [平成30年 7月26日現在]
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同左
	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第1期 [平成30年 1月26日現在]	第2期中間計算期間末 [平成30年 7月26日現在]
1口当たり純資産額	1.1023円	1.0454円
(1万口当たり純資産額)	(11,023円)	(10,454円)

(参考)

当ファンドの主要投資対象の状況は以下の通りです。

なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

TOPIXマザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

[平成30年 7月26日現在]

資産の部

流動資産

[平成30年 7月26日現在]

コール・ローン	38,412,642,435
株式	272,604,660,440
派生商品評価勘定	52,424,120
未収入金	3,528,732,881
未収配当金	328,648,984
その他未収収益	12,395,295
差入委託証拠金	52,650,000
流動資産合計	314,992,154,155
資産合計	314,992,154,155
負債の部	
流動負債	
前受金	36,580,000
未払金	1,083,818
未払解約金	1,972,153,800
未払利息	76,783
受入担保金	37,687,477,012
流動負債合計	39,697,371,413
負債合計	39,697,371,413
純資産の部	
元本等	
元本	146,794,921,833
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	128,499,860,909
元本等合計	275,294,782,742
純資産合計	275,294,782,742
負債純資産合計	314,992,154,155

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。 新株予約権証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[平成30年 7月26日現在]
1. 期首	平成30年 1月27日
期首元本額	174,206,950,751円
期中追加設定元本額	63,579,658,311円
期中一部解約元本額	90,991,687,229円
元本の内訳	
ファンド・マネジャー（国内株式）	2,515,858,504円
eMAXIS TOPIXインデックス	10,530,437,884円
eMAXIS バランス（8資産均等型）	1,840,584,004円

[平成30年 7月26日現在]

eMAXIS バランス(波乗り型)	91,486,617円
コアバランス	735,484円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	21,240,585円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040(確定拠出年金)	35,261,404円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050(確定拠出年金)	30,307,031円
eMAXIS Slim 国内株式(TOPIX)	1,737,938,986円
国内株式セレクション(ラップ向け)	1,073,640,144円
eMAXIS Slim バランス(8資産均等型)	942,736,427円
つみたて日本株式(TOPIX)	1,287,802,249円
つみたて8資産均等バランス	149,894,540円
つみたて4資産均等バランス	32,477,203円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	1,327,507円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	1,615,101円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	2,055,655円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金)	2,565,870円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045(確定拠出年金)	2,626,777円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055(確定拠出年金)	3,083,628円
eMAXIS Slim 全世界株式(3地域均等型)	60,258,341円
三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型)	2,128,348,777円
三菱UFJ バランス・イノベーション(株式重視型)	4,641,839,562円
三菱UFJ バランス・イノベーション(新興国投資型)	428,552,010円
三菱UFJ DCバランス・イノベーション(KAKUSHIN)	335,303,484円
三菱UFJ バランス・イノベーション(債券重視型)	1,345,371,540円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定型)	36,975,422円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定成長型)	220,437,107円
eMAXIS バランス(4資産均等型)	137,871,896円
eMAXIS 最適化バランス(マイゴールキーパー)	36,643,623円
eMAXIS 最適化バランス(マイディフェンダー)	52,200,949円
eMAXIS 最適化バランス(マイミッドフィルダー)	209,911,064円
eMAXIS 最適化バランス(マイフォワード)	150,387,050円
eMAXIS 最適化バランス(マイストライカー)	444,222,950円
三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)	56,617,653円
三菱UFJ バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	9,732,044,165円
三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)	264,033,865円
三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)	2,761,399,380円
MUAM 日本株式インデックスファンド(適格機関投資家限定)	25,814,404,444円

[平成30年 7月26日現在]

三菱UFJ バランスファンドVA 50型(適格機関投資家限定)	478,811,778円
三菱UFJ バランスファンドVA 75型(適格機関投資家限定)	25,890,066円
三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)	6,673,303円
三菱UFJ バランスファンドVA 45型(適格機関投資家限定)	88,372,169円
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)	37,951,788円
三菱UFJ バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	418,580,652円
三菱UFJ バランスファンド20VA(適格機関投資家限定)	871,415,990円
MUAMトピックスリスクコントロール(5%)インデックスファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	2,859,562円
MUAMトピックスリスクコントロール(10%)インデックスファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	257,470,819円
MUAM インデックスファンドTOPIXi(適格機関投資家限定)	8,726,654円
MUKAM バランス・イノベーション(株式抑制型)(適格機関投資家転売制限付)	2,865,142,078円
MUKAM バランス・イノベーション(リスク抑制型)(適格機関投資家転売制限付)	807,695,369円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション(適格機関投資家転売制限付)	217,981,443円
世界8資産バランスファンドVL(適格機関投資家限定)	34,899,091円
MUKAM 下方リスク抑制型バランスファンド(適格機関投資家限定)	1,895,484,526円
MUKAM バランス・イノベーション(債券重視型)(適格機関投資家転売制限付)	41,304,037円
MUKAM 日本株式インデックスファンド2(適格機関投資家限定)	1,038,197,046円
三菱UFJ TOPIX・ファンド	9,006,635,473円
インデックス・ライフ・バランスファンド(安定型)VA	6,514,348円
インデックス・ライフ・バランスファンド(安定成長型)VA	18,560,643円
インデックス・ライフ・バランスファンド(成長型)VA	22,697,508円
インデックス・ライフ・バランスファンド(積極型)VA	21,000,450円
三菱UFJ TOPIX・ファンドVA1	1,855,337,102円
三菱UFJ TOPIX・ファンドVA	366,243,331円
三菱UFJ バランスVA30D(適格機関投資家限定)	48,582,376円
三菱UFJ バランスVA60D(適格機関投資家限定)	317,560,411円
三菱UFJ バランスVA30G(適格機関投資家限定)	32,953,204円
三菱UFJ バランスVA60G(適格機関投資家限定)	227,169,877円
三菱UFJ <DC>TOPIX・ファンド	1,901,552,957円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド(安定型)	488,930,004円

	[平成30年 7月26日現在]
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド (安定成長型)	1,907,048,518円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド (成長型)	1,614,801,435円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド (積極型)	1,315,620,845円
三菱UFJ DC国内株式インデックスファンド	49,385,758,098円
合計	146,794,921,833円
2. 貸付有価証券 貸借取引契約により以下の通り有価証券の貸付を行って おります。 株式	36,253,367,550円
3. 受益権の総数	146,794,921,833口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成30年 7月26日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

株式関連

[平成30年 7月26日現在]

区分	種類	契約額等(円)	うち1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引	株価指数先物取引 買建	2,103,250,000		2,155,740,000	52,490,000
	合計	2,103,250,000		2,155,740,000	52,490,000

## (注)時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。  
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。  
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

## (1口当たり情報)

	[平成30年 7月26日現在]
1口当たり純資産額	1.8754円
(1万口当たり純資産額)	(18,754円)

## 外国株式インデックスマザーファンド

## 貸借対照表

(単位:円)

[平成30年 7月26日現在]

資産の部	
流動資産	
預金	6,088,435,260
コール・ローン	713,595,294
株式	356,541,163,766
投資証券	8,326,099,284
派生商品評価勘定	260,865,585
未収配当金	295,041,227
差入委託証拠金	3,354,317,500
流動資産合計	375,579,517,916
資産合計	375,579,517,916
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	3,978,807
未払解約金	549,815,460
未払利息	1,426
流動負債合計	553,795,693
負債合計	553,795,693
純資産の部	
元本等	
元本	134,985,806,030
剰余金	
剰余金又は欠損金( )	240,039,916,193
元本等合計	375,025,722,223
純資産合計	375,025,722,223

[平成30年 7月26日現在]

負債純資産合計

375,579,517,916

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。 投資証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。 為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[平成30年 7月26日現在]
1. 期首	平成30年 1月27日
期首元本額	151,705,309,998円
期中追加設定元本額	54,668,038,410円
期中一部解約元本額	71,387,542,378円
元本の内訳	
ファンド・マネジャー（海外株式）	172,983,822円
eMAXIS 先進国株式インデックス	13,334,536,256円
eMAXIS バランス（8資産均等型）	1,247,327,771円
eMAXIS バランス（波乗り型）	338,538,434円
コアバランス	339,373円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030（確定拠出年金）	7,143,748円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金）	11,398,133円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050（確定拠出年金）	9,886,988円
eMAXIS Slim 先進国株式インデックス	6,168,990,428円
海外株式セレクション（ラップ向け）	1,033,056,838円
eMAXIS Slim バランス（8資産均等型）	631,156,972円
つみたて先進国株式	353,277,224円
つみたて8資産均等バランス	100,475,984円
つみたて4資産均等バランス	21,842,163円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	897,803円

[平成30年 7月26日現在]

eMAXIS マイマネージャー 1980s	1,153,052円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	1,428,017円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金)	831,335円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045(確定拠出年金)	903,697円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055(確定拠出年金)	1,057,338円
eMAXIS Slim 全世界株式(除く日本)	501,966,631円
eMAXIS Slim 全世界株式(3地域均等型)	40,533,346円
三菱UFJ DC海外株式インデックスファンド	10,853,844,379円
eMAXIS 全世界株式インデックス	2,548,683,661円
三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型)	1,635,817,420円
三菱UFJ バランス・イノベーション(株式重視型)	3,091,578,207円
三菱UFJ バランス・イノベーション(新興国投資型)	532,876,596円
三菱UFJ DCバランス・イノベーション(KAKUSHIN)	256,095,738円
三菱UFJ バランス・イノベーション(債券重視型)	888,035,939円
eMAXIS バランス(4資産均等型)	92,737,549円
eMAXIS 最適化バランス(マイゴールキーパー)	19,685,285円
eMAXIS 最適化バランス(マイディフェンダー)	34,735,438円
eMAXIS 最適化バランス(マイミッドフィルダー)	140,352,325円
eMAXIS 最適化バランス(マイフォワード)	105,125,430円
eMAXIS 最適化バランス(マイストライカー)	306,473,993円
三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)	48,985,619円
三菱UFJ バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	10,888,205,001円
三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)	177,458,543円
三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)	1,853,003,909円
MUAM 外国株式インデックスファンド(適格機関投資家限定)	50,421,931,346円
三菱UFJ バランスファンドVA 45型(適格機関投資家限定)	74,307,774円
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)	25,276,173円
三菱UFJ バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	1,421,728,783円
MSCIコクサイインデックスファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	3,112,057,388円
MUAM 全世界株式インデックスファンド(適格機関投資家限定)	8,014,169,804円
アドバンスト・バランス (FOFs用)(適格機関投資家限定)	34,837,855円
アドバンスト・バランス (FOFs用)(適格機関投資家限定)	210,182,994円
MUKAM バランス・イノベーション(株式抑制型)(適格機関投資家転売制限付)	2,206,894,763円
MUKAM バランス・イノベーション(リスク抑制型)(適格機関投資家転売制限付)	619,037,146円

	[平成30年 7月26日現在]
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション（適格機関投資家転売制限付）	209,667,666円
世界8資産バランスファンドVL（適格機関投資家限定）	30,193,868円
MUKAM 下方リスク抑制型バランスファンド（適格機関投資家限定）	1,259,404,764円
MUKAM バランス・イノベーション（債券重視型）（適格機関投資家転売制限付）	27,409,617円
MUKAM 外国株式インデックスファンド2（適格機関投資家限定）	478,998,636円
三菱UFJ 外国株式インデックスファンド	2,500,849,081円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定型）VA	2,173,033円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定成長型）VA	6,384,080円
インデックス・ライフ・バランスファンド（成長型）VA	8,660,590円
インデックス・ライフ・バランスファンド（積極型）VA	8,830,489円
三菱UFJ 外国株式インデックスファンドVA	65,013,782円
三菱UFJ バランスVA30D（適格機関投資家限定）	16,304,274円
三菱UFJ バランスVA60D（適格機関投資家限定）	107,167,677円
三菱UFJ バランスVA30G（適格機関投資家限定）	21,984,210円
三菱UFJ バランスVA60G（適格機関投資家限定）	152,323,135円
三菱UFJ <DC>外国株式インデックスファンド	4,479,328,905円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（安定型）	163,981,433円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（安定成長型）	655,678,322円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（成長型）	633,442,046円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（積極型）	564,166,011円
合計	134,985,806,030円
2. 受益権の総数	134,985,806,030口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成30年 7月26日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券</p> <p>売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引</p> <p>デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。</p>

区分	[平成30年 7月26日現在]
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>(3) 上記以外の金融商品</p> <p>上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

株式関連

[平成30年 7月26日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	10,562,474,004		10,819,865,752	257,391,748
	合計	10,562,474,004		10,819,865,752	257,391,748

（注）時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。  
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。  
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

通貨関連

[平成30年 7月26日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建				
	アメリカドル	620,307,800		619,878,000	429,800
	カナダドル	33,959,200		33,956,000	3,200
	オーストラリアドル	16,517,200		16,516,000	1,200
	イギリスポンド	65,803,750		65,786,500	17,250
	スイスフラン	39,143,620		39,105,500	38,120

香港ドル	14,109,000	14,100,000	9,000
スウェーデンク ローネ	12,651,600	12,650,000	1,600
ユーロ	103,900,800	103,896,000	4,800
合計	906,392,970	905,888,000	504,970

## (注) 時価の算定方法

- 1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

為替予約の受渡日(以下「当該日」といいます。)の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。

当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

(イ) 当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

(ロ) 当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

- 2 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

## (1口当たり情報)

	[平成30年 7月26日現在]
1口当たり純資産額	2.7783円
(1万口当たり純資産額)	(27,783円)

## 新興国株式インデックスマザーファンド

## 貸借対照表

(単位:円)

[平成30年 7月26日現在]

資産の部	
流動資産	
預金	2,111,695,513
コール・ローン	128,550,821
株式	69,775,452,734
投資証券	275,010,958
派生商品評価勘定	96,802,496
未収入金	5,551,859
未収配当金	457,076,396
差入委託証拠金	481,406,243
流動資産合計	73,331,547,020
資産合計	73,331,547,020
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	4,464,573
未払金	45,931
未払解約金	28,494,886
未払利息	256
流動負債合計	33,005,646
負債合計	33,005,646
純資産の部	

[平成30年 7月26日現在]

元本等	
元本	29,005,110,199
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	44,293,431,175
元本等合計	73,298,541,374
純資産合計	73,298,541,374
負債純資産合計	73,331,547,020

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。 投資証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。 為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[平成30年 7月26日現在]
1. 期首	平成30年 1月27日
期首元本額	25,769,515,964円
期中追加設定元本額	6,554,803,660円
期中一部解約元本額	3,319,209,425円
元本の内訳	
eMAXIS 新興国株式インデックス	13,272,710,117円
eMAXIS バランス(8資産均等型)	1,366,552,589円
eMAXIS バランス(波乗り型)	68,041,418円
三菱UFJ プライムバランス(8資産)(確定拠出年金)	216,847,504円
コアバランス	93,593円
海外株式セレクション(ラップ向け)	37,971,290円
eMAXIS Slim バランス(8資産均等型)	700,343,251円
eMAXIS Slim 新興国株式インデックス	3,003,417,204円
つみたて新興国株式	265,227,897円
つみたて8資産均等バランス	111,339,690円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	448,716円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	615,236円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	1,533,403円

	[平成30年 7月26日現在]
eMAXIS Slim 全世界株式（除く日本）	78,023,890円
eMAXIS Slim 全世界株式（3地域均等型）	44,968,055円
三菱UFJ DC新興国株式インデックスファンド	7,018,151,421円
新興国株式インデックスオープン	302,160,694円
eMAXIS 全世界株式インデックス	396,142,100円
三菱UFJ バランス・イノベーション（新興国投資型）	388,515,108円
新興国株式インデックスファンド（ラップ向け）	4,714,631円
eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）	11,066,830円
eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	69,379,935円
eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）	58,284,408円
eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	328,911,732円
MUAM 全世界株式インデックスファンド（適格機関投資家限定）	1,245,052,353円
アドバンスト・バランス（FOFs用）（適格機関投資家限定）	1,397,806円
アドバンスト・バランス（FOFs用）（適格機関投資家限定）	6,537,849円
世界8資産バランスファンドVL（適格機関投資家限定）	6,661,479円
合計	29,005,110,199円
2. 受益権の総数	29,005,110,199口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成30年 7月26日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>（1）有価証券</p> <p>売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>（2）デリバティブ取引</p> <p>デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。</p> <p>（3）上記以外の金融商品</p> <p>上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

## （デリバティブ取引に関する注記）

## 取引の時価等に関する事項

## 株式関連

[平成30年 7月26日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	3,176,938,374		3,269,587,097	92,648,723
	合計	3,176,938,374		3,269,587,097	92,648,723

## （注）時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。  
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。  
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

## 通貨関連

[平成30年 7月26日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建 アメリカドル	199,561,800		199,251,000	310,800
	合計	199,561,800		199,251,000	310,800

## （注）時価の算定方法

- 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。  
為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。  
当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。  
（イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。  
（ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
- 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。  
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

## （1口当たり情報）

	[平成30年 7月26日現在]
1口当たり純資産額	2.5271円

	[平成30年 7月26日現在]
(1万口当たり純資産額)	(25,271円)

## 日本債券インデックスマザーファンド

## 貸借対照表

(単位：円)

[平成30年 7月26日現在]

<b>資産の部</b>	
流動資産	
コール・ローン	3,132,213,774
国債証券	460,197,119,650
地方債証券	31,256,561,688
特殊債券	36,489,596,740
社債券	24,795,847,720
派生商品評価勘定	37,840
未収入金	5,807,151,319
未収利息	1,095,746,044
前払費用	69,030,588
差入委託証拠金	6,240,000
流動資産合計	562,849,545,363
資産合計	562,849,545,363
<b>負債の部</b>	
流動負債	
派生商品評価勘定	1,658,640
前受金	750,000
未払金	3,272,493,960
未払解約金	123,360,526
未払利息	6,260
流動負債合計	3,398,269,386
負債合計	3,398,269,386
<b>純資産の部</b>	
元本等	
元本	422,295,340,983
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	137,155,934,994
元本等合計	559,451,275,977
純資産合計	559,451,275,977
負債純資産合計	562,849,545,363

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[平成30年 7月26日現在]
1. 期首	平成30年 1月27日
期首元本額	341,421,490,015円
期中追加設定元本額	160,910,847,004円
期中一部解約元本額	80,036,996,036円
元本の内訳	
ファンド・マネジャー(国内債券)	99,391,818,730円
eMAXIS 国内債券インデックス	10,616,803,209円
eMAXIS バランス(8資産均等型)	2,344,991,642円
eMAXIS バランス(波乗り型)	393,901,935円
コアバランス	2,539,313円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	95,197,215円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040(確定拠出年金)	58,970,485円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050(確定拠出年金)	29,444,367円
eMAXIS Slim 国内債券インデックス	1,327,758,805円
国内債券セレクション(ラップ向け)	2,637,092,170円
eMAXIS Slim バランス(8資産均等型)	1,208,574,652円
つみたて8資産均等バランス	192,092,541円
つみたて4資産均等バランス	43,659,874円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	2,373,095円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	547,543円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	47,929円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金)	6,292,176円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045(確定拠出年金)	3,284,459円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055(確定拠出年金)	2,482,339円
三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型)	9,951,537,942円
三菱UFJ バランス・イノベーション(株式重視型)	3,913,137,712円
三菱UFJ バランス・イノベーション(新興国投資型)	1,542,438,736円
三菱UFJ DCバランス・イノベーション(KAKUSHIN)	1,561,811,190円
三菱UFJ バランス・イノベーション(債券重視型)	8,558,578,449円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定型)	280,590,884円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定成長型)	306,677,288円
eMAXIS 債券バランス(2資産均等型)	74,922,418円
eMAXIS バランス(4資産均等型)	185,384,269円
eMAXIS 最適化バランス(マイゴールキーパー)	245,950,214円
eMAXIS 最適化バランス(マイディフェンダー)	186,587,025円
eMAXIS 最適化バランス(マイミッドフィルダー)	390,978,105円
eMAXIS 最適化バランス(マイフォワード)	45,542,727円

[平成30年 7月26日現在]

eMAXIS 最適化バランス(マイストライカー)	10,308,475円
三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)	116,885,640円
三菱UFJ バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	13,313,520,531円
三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)	1,470,721,639円
三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)	5,736,052,234円
MUAM 日本債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	188,367,119,171円
三菱UFJ バランスファンドVA 50型(適格機関投資家限定)	658,518,447円
三菱UFJ バランスファンドVA 75型(適格機関投資家限定)	35,725,496円
三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)	27,554,704円
三菱UFJ バランスファンドVA 45型(適格機関投資家限定)	215,966,166円
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)	52,405,696円
三菱UFJ バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	5,276,060,616円
三菱UFJ バランスファンド20VA(適格機関投資家限定)	3,682,340,228円
MUKAM バランス・イノベーション(株式抑制型)(適格機関投資家転売制限付)	13,269,477,776円
MUKAM バランス・イノベーション(リスク抑制型)(適格機関投資家転売制限付)	3,721,286,569円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション(適格機関投資家転売制限付)	1,320,839,384円
世界8資産バランスファンドVL(適格機関投資家限定)	126,516,576円
MUKAM 下方リスク抑制型バランスファンド(適格機関投資家限定)	23,712,311,745円
MUKAM バランス・イノベーション(債券重視型)(適格機関投資家転売制限付)	259,317,356円
MUKAM 日本債券インデックスファンド2(適格機関投資家限定)	1,941,753,528円
インデックス・ライフ・バランスファンド(安定型)VA	24,924,009円
インデックス・ライフ・バランスファンド(安定成長型)VA	35,914,852円
インデックス・ライフ・バランスファンド(成長型)VA	27,829,620円
インデックス・ライフ・バランスファンド(積極型)VA	19,846,169円
三菱UFJ バランスVA30D(適格機関投資家限定)	168,769,846円
三菱UFJ バランスVA60D(適格機関投資家限定)	326,568,179円
三菱UFJ バランスVA30G(適格機関投資家限定)	119,500,598円
三菱UFJ バランスVA60G(適格機関投資家限定)	262,557,704円
三菱UFJ <DC>日本債券インデックスファンド	3,523,516,138円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド(安定型)	1,910,686,786円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド(安定成長型)	3,700,859,680円

	[平成30年 7月26日現在]
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド (成長型)	2,035,110,294円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド (積極型)	1,222,565,693円
合計	422,295,340,983円
2. 受益権の総数	422,295,340,983口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成30年 7月26日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

債券関連

[平成30年 7月26日現在]

区分	種類	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
			うち1年超		
市場取引	債券先物取引 買建	1,507,710,000		1,506,100,000	1,610,000
	合計	1,507,710,000		1,506,100,000	1,610,000

(注) 時価の算定方法

- 1 先物取引の時価については、以下のように評価しております。  
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
  - 2 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
  - 3 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
- 上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

## （1口当たり情報）

	[平成30年 7月26日現在]
1口当たり純資産額	1.3248円
(1万口当たり純資産額)	(13,248円)

## 外国債券インデックスマザーファンド

## 貸借対照表

（単位：円）

[平成30年 7月26日現在]

<b>資産の部</b>	
流動資産	
預金	271,869,689
コール・ローン	83,137,017
国債証券	116,693,870,710
未収入金	25,840,239
未収利息	951,094,571
前払費用	39,049,837
流動資産合計	118,064,862,063
資産合計	118,064,862,063
<b>負債の部</b>	
流動負債	
派生商品評価勘定	2,690
未払解約金	48,546,113
未払利息	166
流動負債合計	48,548,969
負債合計	48,548,969
<b>純資産の部</b>	
元本等	
元本	58,162,037,326
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	59,854,275,768
元本等合計	118,016,313,094
純資産合計	118,016,313,094
負債純資産合計	118,064,862,063

## 注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
--------------------	---

2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

## (貸借対照表に関する注記)

	[平成30年 7月26日現在]
1. 期首	平成30年 1月27日
期首元本額	59,459,328,166円
期中追加設定元本額	4,813,713,744円
期中一部解約元本額	6,111,004,584円
元本の内訳	
ファンド・マネジャー(海外債券)	974,713,173円
eMAXIS 先進国債券インデックス	6,955,494,370円
eMAXIS バランス(8資産均等型)	1,669,785,918円
eMAXIS バランス(波乗り型)	241,741,774円
コアバランス	1,401,956円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	4,852,172円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040(確定拠出年金)	4,545,547円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050(確定拠出年金)	3,191,200円
eMAXIS Slim 先進国債券インデックス	1,043,764,265円
海外債券セレクション(ラップ向け)	1,119,237,843円
eMAXIS Slim バランス(8資産均等型)	856,675,426円
つみたて8資産均等バランス	136,106,601円
つみたて4資産均等バランス	29,670,757円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	529,482円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	148,774円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	31,157円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金)	402,012円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045(確定拠出年金)	305,712円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055(確定拠出年金)	311,031円
三菱UFJ DC海外債券インデックスファンド	8,180,289,456円
eMAXIS バランス(4資産均等型)	125,986,274円
eMAXIS 最適化バランス(マイゴールキーパー)	93,588,494円
eMAXIS 最適化バランス(マイディフェンダー)	57,078,596円
eMAXIS 最適化バランス(マイミッドフィルダー)	84,398,483円

[平成30年 7月26日現在]

eMAXIS 最適化バランス(マイフォワード)	11,873,225円
eMAXIS 最適化バランス(マイストライカー)	6,695,694円
三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)	64,751,599円
三菱UFJ バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	2,926,697,453円
三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)	1,883,784,402円
MUAM 外国債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	22,090,771,374円
三菱UFJ バランスファンドVA 50型(適格機関投資家限定)	861,211,476円
三菱UFJ バランスファンドVA 75型(適格機関投資家限定)	34,964,423円
三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)	9,159,054円
三菱UFJ バランスファンドVA 45型(適格機関投資家限定)	80,739,986円
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)	22,721,759円
三菱UFJ バランスファンド20VA(適格機関投資家限定)	2,416,149,242円
アドバンスト・バランス (FOFs用)(適格機関投資家限定)	110,118,302円
アドバンスト・バランス (FOFs用)(適格機関投資家限定)	148,285,325円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション(適格機関投資家転売制限付)	97,387,987円
世界8資産バランスファンドVL(適格機関投資家限定)	9,978,559円
MUKAM 外国債券インデックスファンド2(適格機関投資家限定)	274,343,868円
インデックス・ライフ・バランスファンド(安定型)VA	2,880,486円
インデックス・ライフ・バランスファンド(安定成長型)VA	5,659,967円
インデックス・ライフ・バランスファンド(成長型)VA	5,733,635円
インデックス・ライフ・バランスファンド(積極型)VA	2,397,235円
三菱UFJ 外国債券インデックスファンドVA	53,876,646円
三菱UFJ バランスVA30D(適格機関投資家限定)	43,941,023円
三菱UFJ バランスVA60D(適格機関投資家限定)	71,964,006円
三菱UFJ バランスVA30G(適格機関投資家限定)	58,825,427円
三菱UFJ バランスVA60G(適格機関投資家限定)	102,933,905円
外国債券インデックスファンドi(適格機関投資家限定)	1,818,090,418円
三菱UFJ <DC>外国債券インデックスファンド	1,991,140,087円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド(安定型)	220,128,991円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド(安定成長型)	580,424,621円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド(成長型)	420,072,387円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド(積極型)	150,084,291円
合計	58,162,037,326円
2. 受益権の総数	58,162,037,326口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成30年 7月26日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>（１）有価証券            売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>（２）デリバティブ取引            デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。</p> <p>（３）上記以外の金融商品            上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

通貨関連

[平成30年 7月26日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建				
	アメリカドル	26,566,800		26,565,600	1,200
	カナダドル	1,697,960		1,697,800	160
	オーストラリアドル	1,651,720		1,651,600	120
	イギリスポンド	1,462,030		1,461,900	130
	ユーロ	23,377,680		23,376,600	1,080
	合計	54,756,190		54,753,500	2,690

（注）時価の算定方法

- 1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。

当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- (イ) 当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- (ロ) 当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
- 2 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。
- 上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（1口当たり情報）

	[平成30年 7月26日現在]
1口当たり純資産額	2.0291円
(1万口当たり純資産額)	(20,291円)

## 新興国債券インデックスマザーファンド

### 貸借対照表

（単位：円）

[平成30年 7月26日現在]

<b>資産の部</b>	
流動資産	
預金	387,017,708
コール・ローン	45,847,105
国債証券	17,502,627,774
派生商品評価勘定	77,861
未収利息	246,014,029
前払費用	34,726,048
流動資産合計	18,216,310,525
資産合計	18,216,310,525
<b>負債の部</b>	
流動負債	
派生商品評価勘定	14,118
未払金	12,049,081
未払解約金	24,722,590
未払利息	91
流動負債合計	36,785,880
負債合計	36,785,880
<b>純資産の部</b>	
元本等	
元本	13,698,356,609
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	4,481,168,036
元本等合計	18,179,524,645
純資産合計	18,179,524,645
負債純資産合計	18,216,310,525

### 注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

## (貸借対照表に関する注記)

	[平成30年 7月26日現在]
1. 期首	平成30年 1月27日
期首元本額	11,529,608,091円
期中追加設定元本額	2,603,596,621円
期中一部解約元本額	434,848,103円
元本の内訳	
eMAXIS バランス(8資産均等型)	2,575,463,634円
eMAXIS バランス(波乗り型)	373,725,056円
三菱UFJ プライムバランス(8資産)(確定拠出年金)	404,073,509円
コアバランス	1,482,382円
海外債券セレクション(ラップ向け)	148,638,487円
eMAXIS Slim バランス(8資産均等型)	1,319,053,953円
つみたて8資産均等バランス	209,751,680円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	845,630円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	1,197,950円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	96,288円
eMAXIS 新興国債券インデックス	4,473,101,916円
三菱UFJ DC新興国債券インデックスファンド	3,856,872,528円
新興国債券インデックスファンド(ラップ向け)	4,865,110円
eMAXIS 最適化バランス(マイディフェンダー)	20,801,074円
eMAXIS 最適化バランス(マイミッドフィルダー)	130,592,743円
eMAXIS 最適化バランス(マイフォワード)	109,796,501円
eMAXIS 最適化バランス(マイストライカー)	20,646,044円
アドバンスト・バランス (FOFs用)(適格機関投資家限定)	15,092,845円
アドバンスト・バランス (FOFs用)(適格機関投資家限定)	19,846,333円
世界8資産バランスファンドVL(適格機関投資家限定)	12,412,946円
合計	13,698,356,609円
2. 受益権の総数	13,698,356,609口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成30年 7月26日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

## 通貨関連

[平成30年 7月26日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建				
	アメリカドル	6,641,700		6,641,400	300
	インドネシアルピア	7,690,000		7,700,000	10,000
	メキシコペソ	5,927,200		5,920,000	7,200
	ブラジルリアル	11,338,709		11,400,000	61,291
	チェココルナ	4,055,840		4,056,000	160
	ハンガリーフォリント	4,798,800		4,792,800	6,000
	トルコリラ	1,384,218		1,383,600	618
	売建				
	ポーランドズロチ	9,073,650		9,072,000	1,650
南アフリカランド	14,352,760		14,348,000	4,760	
合計		65,262,877		65,313,800	63,743

## （注）時価の算定方法

- 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。  
為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。  
当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。  
（イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。  
（ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
- 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。  
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

## （1口当たり情報）

	[平成30年 7月26日現在]
1口当たり純資産額	1.3271円
(1万口当たり純資産額)	(13,271円)

## 東証REIT指数マザーファンド

## 貸借対照表

（単位：円）

[平成30年 7月26日現在]

<b>資産の部</b>	
流動資産	
コール・ローン	263,921,981
投資証券	22,221,133,786
派生商品評価勘定	1,719,304
未収配当金	145,977,459
差入委託証拠金	8,398,000
流動資産合計	22,641,150,530
資産合計	22,641,150,530
<b>負債の部</b>	
流動負債	
派生商品評価勘定	1,114,176
前受金	1,506,300
未払金	80,378,804
未払解約金	34,877,227
未払利息	527
流動負債合計	117,877,034
負債合計	117,877,034
<b>純資産の部</b>	
元本等	
元本	8,166,331,005
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	14,356,942,491
元本等合計	22,523,273,496
純資産合計	22,523,273,496
負債純資産合計	22,641,150,530

## 注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[平成30年 7月26日現在]
1. 期首	平成30年 1月27日
期首元本額	8,027,016,238円
期中追加設定元本額	935,096,648円
期中一部解約元本額	795,781,881円
元本の内訳	
eMAXIS 国内リートインデックス	3,899,127,823円
eMAXIS バランス（8資産均等型）	1,227,644,612円
eMAXIS バランス（波乗り型）	176,598,762円
三菱UFJ <DC>J-REITインデックスファンド	929,399円
三菱UFJ プライムバランス（8資産）（確定拠出年金）	141,350,116円
J-REITインデックスファンド（ラップ向け）	1,679,642,050円
オルタナティブ資産セレクション（ラップ向け）	150,229,040円
eMAXIS Slim バランス（8資産均等型）	630,788,211円
つみたて8資産均等バランス	100,181,259円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	306,015円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	448,033円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	91,740円
三菱UFJ アドバンスト・バランス（安定型）	5,515,399円
三菱UFJ アドバンスト・バランス（安定成長型）	28,464,765円
eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）	4,923,311円
eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）	9,914,867円
eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	46,776,165円
eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）	39,330,226円
eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	19,727,004円
世界8資産バランスファンドVL（適格機関投資家限定）	4,342,208円
合計	8,166,331,005円
2. 受益権の総数	8,166,331,005口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

## 金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成30年 7月26日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありませぬ。
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によつた場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

## 投資証券関連

[平成30年 7月26日現在]

区分	種類	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
			うち1年超		
市場取引	不動産投信指数先物取引 買建	384,028,200		384,650,500	622,300
	合計	384,028,200		384,650,500	622,300

(注)時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。  
 原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりませぬ。  
 上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありませぬ。

(1口当たり情報)

	[平成30年 7月26日現在]
1口当たり純資産額	2.7581円
(1万口当たり純資産額)	(27,581円)

## MUAM G-REITマザーファンド

## 貸借対照表

(単位：円)

[平成30年 7月26日現在]

資産の部	
流動資産	
預金	154,619,211
コール・ローン	15,574,444
投資証券	19,625,904,200
未収入金	73,685
未収配当金	30,851,660
流動資産合計	19,827,023,200
資産合計	19,827,023,200
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	1,500
未払解約金	9,416,866
未払利息	31
流動負債合計	9,418,397
負債合計	9,418,397
純資産の部	
元本等	
元本	12,103,340,837
剰余金	
剰余金又は欠損金( )	7,714,263,966
元本等合計	19,817,604,803
純資産合計	19,817,604,803
負債純資産合計	19,827,023,200

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[平成30年 7月26日現在]
1. 期首	平成30年 1月27日
期首元本額	11,593,498,620円
期中追加設定元本額	1,306,084,980円
期中一部解約元本額	796,242,763円
元本の内訳	
三菱UFJ 6資産バランスファンド(2ヵ月分配型)	172,390,999円
三菱UFJ 6資産バランスファンド(成長型)	123,029,552円
三菱UFJ 資産設計ファンド(分配型)	33,239,531円
三菱UFJ 資産設計ファンド(バランス型)	61,197,084円
三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)	27,203,568円
ファンド・マネジャー(海外リート)	46,204,930円
eMAXIS 先進国リートインデックス	5,507,598,254円
eMAXIS バランス(8資産均等型)	2,086,598,315円
eMAXIS バランス(波乗り型)	299,485,145円
三菱UFJ <DC>先進国REITインデックスファンド	1,605,453,174円
三菱UFJ プライムバランス(8資産)(確定拠出年金)	240,599,514円
オルタナティブ資産セレクション(ラップ向け)	283,196,146円
eMAXIS Slim バランス(8資産均等型)	1,061,255,837円
つみたて8資産均等バランス	168,794,839円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	755,345円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	929,386円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	309,010円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定型)	11,558,325円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定成長型)	56,370,996円
eMAXIS 最適化バランス(マイゴールキーパー)	12,417,312円
eMAXIS 最適化バランス(マイディフェンダー)	24,955,237円
eMAXIS 最適化バランス(マイミッドフィルダー)	117,664,255円
eMAXIS 最適化バランス(マイフォワード)	88,343,903円
eMAXIS 最適化バランス(マイストライカー)	66,399,095円
世界8資産バランスファンドVL(適格機関投資家限定)	7,391,085円
合計	12,103,340,837円
2. 受益権の総数	12,103,340,837口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成30年 7月26日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券

区分	[平成30年 7月26日現在]
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>（2）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。</p> <p>（3）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>

（有価証券に関する注記）  
該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）  
取引の時価等に関する事項

#### 通貨関連

[平成30年 7月26日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建 アメリカドル	33,208,500		33,207,000	1,500
	合計	33,208,500		33,207,000	1,500

#### （注）時価の算定方法

- 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。  
為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。  
当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。  
（イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。  
（ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
- 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。  
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

#### （1口当たり情報）

	[平成30年 7月26日現在]
1口当たり純資産額	1.6374円

	[平成30年 7月26日現在]
(1万口当たり純資産額)	(16,374円)

## 4【委託会社等の概況】

## (1)【資本金の額】

平成30年7月末現在、資本金は2,000百万円です。なお、発行可能株式総数は400,000株であり、211,581株を発行済です。最近5年間における資本金の額の増減はありません。

## (2)【事業の内容及び営業の状況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）等を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業および投資助言業務を行っています。

平成30年7月31日現在における委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

商品分類	本数 (本)	純資産総額 (百万円)
追加型株式投資信託	867	12,284,001
追加型公社債投資信託	16	1,280,160
単位型株式投資信託	58	289,864
単位型公社債投資信託	1	6,039
合計	942	13,860,063

なお、純資産総額の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して記載しておりますので、表中の個々の数字の合計と合計欄の数字とは一致しないことがあります。

## (3)【その他】

## 定款の変更等

定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

## 訴訟事件その他重要事項

該当事項はありません。

## 5【委託会社等の経理状況】

## (1) 財務諸表の作成方法について

委託会社である三菱UFJ国際投信株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）」（以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

財務諸表に掲載している金額については、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## (2) 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第33期事業年度（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

## (1) 【貸借対照表】

(単位：千円)

	第32期 (平成29年3月31日現在)		第33期 (平成30年3月31日現在)	
<b>(資産の部)</b>				
<b>流動資産</b>				
現金及び預金	2	69,212,680	2	54,140,307
有価証券		36,210		19,967
前払費用		337,699		362,886
未収入金		35,896		2,109
未収委託者報酬		10,076,022		9,770,529
未収収益	2	659,405	2	674,156
繰延税金資産		446,374		490,903
金銭の信託	2	30,000	2	30,000
その他		113,754		224,645
流動資産合計		80,948,042		65,715,506
<b>固定資産</b>				
<b>有形固定資産</b>				
建物	1	806,798	1	760,010
器具備品	1	759,446	1	724,852
土地		1,356,000		1,356,000
有形固定資産合計		2,922,245		2,840,863
<b>無形固定資産</b>				
電話加入権		15,822		15,822
ソフトウェア		1,844,549		2,654,296
ソフトウェア仮勘定		608,066		1,097,970
その他		10		
無形固定資産合計		2,468,448		3,768,090
<b>投資その他の資産</b>				
投資有価証券		24,327,081		26,361,327
関係会社株式		320,136		320,136

長期差入保証金	654,402	627,141
前払年金費用	463,105	434,700
繰延税金資産	711,230	747,085
その他	50,235	45,230
貸倒引当金	23,600	23,600
投資その他の資産合計	26,502,592	28,512,021
固定資産合計	31,893,286	35,120,975
資産合計	112,841,328	100,836,481

(単位：千円)

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債		
預り金	166,493	359,176
未払金		
未払収益分配金	108,024	174,333
未払償還金	547,707	456,159
未払手数料	2 4,225,009	2 3,905,670
その他未払金	2 2,355,815	2 4,330,584
未払費用	2 3,061,479	2 4,388,803
未払消費税等	351,670	99,010
未払法人税等	756,668	736,829
賞与引当金	843,729	906,167
役員賞与引当金	100,680	125,343
その他	711,633	842,194
流動負債合計	13,228,909	16,324,272
固定負債		
退職給付引当金	590,154	720,536
役員退職慰労引当金	166,458	187,562
時効後支払損引当金	253,070	254,851
固定負債合計	1,009,684	1,162,951
負債合計	14,238,594	17,487,223
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	2,000,131	2,000,131
資本剰余金		
資本準備金	3,572,096	3,572,096
その他資本剰余金	41,160,616	41,160,616
資本剰余金合計	44,732,712	44,732,712
利益剰余金		
利益準備金	342,589	342,589
その他利益剰余金		

別途積立金	6,998,000	6,998,000
繰越利益剰余金	43,034,713	27,790,911
利益剰余金合計	50,375,303	35,131,500
株主資本合計	97,108,147	81,864,344

(単位：千円)

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
評価・換算差額等		
その他有価証券 評価差額金	1,494,586	1,484,913
評価・換算差額等合計	1,494,586	1,484,913
純資産合計	98,602,734	83,349,257
負債純資産合計	112,841,328	100,836,481

## (2)【損益計算書】

(単位：千円)

	第32期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	81,709,776	75,423,596
投資顧問料	2,396,020	2,723,458
その他営業収益	25,763	48,215
営業収益合計	84,131,560	78,195,269
営業費用		
支払手数料	2 33,975,255	2 30,906,879
広告宣伝費	731,771	730,784
公告費	482	1,000
調査費		
調査費	1,713,892	1,723,057
委託調査費	13,961,993	13,467,029
事務委託費	984,749	864,916
営業雑経費		
通信費	158,915	178,652
印刷費	699,940	467,973
協会費	51,995	50,251
諸会費	9,887	15,328
事務機器関連費	1,611,608	1,635,079
その他営業雑経費	11,925	23,250
営業費用合計	53,912,419	50,064,204
一般管理費		
給料		

役員報酬	331,997	349,359
給料・手当	6,496,165	6,421,837
賞与引当金繰入	843,729	906,167
役員賞与引当金繰入	100,680	125,343
福利厚生費	1,196,210	1,231,033
交際費	14,843	13,012
旅費交通費	233,159	192,192
租税公課	422,030	410,229
不動産賃借料	706,571	678,182
退職給付費用	441,736	423,171
役員退職慰労引当金繰入	48,393	47,889
固定資産減価償却費	1,030,040	1,115,719
諸経費	474,521	450,299
一般管理費合計	12,340,079	12,364,437
営業利益	17,879,061	15,766,627

(単位：千円)

	第32期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
営業外収益		
受取配当金	243,048	349,402
有価証券利息	0	
受取利息	2 4,601	2 483
投資有価証券償還益	260,190	81,580
収益分配金等時効完成分	278,148	91,672
その他	4,383	9,989
営業外収益合計	790,372	533,128
営業外費用		
投資有価証券償還損	11,552	30,114
時効後支払損引当金繰入		43,182
事務過誤費	218	10,402
その他	4,357	3,829
営業外費用合計	16,128	87,529
経常利益	18,653,304	16,212,226
特別利益		
投資有価証券売却益	259,137	516,394
ゴルフ会員権売却益		7,495
特別利益合計	259,137	523,889
特別損失		
投資有価証券売却損	42,248	105,903
デリバティブ解約損	126,228	
投資有価証券評価損	157,482	102,096
固定資産除却損	1 13,540	1 54
減損損失	3 48,575	
特別損失合計	388,075	208,054

税引前当期純利益		18,524,367		16,528,061
法人税、住民税及び事業税	2	5,658,953	2	5,252,224
法人税等調整額		103,169		76,092
法人税等合計		5,762,122		5,176,132
当期純利益		12,762,244		11,351,928

## (3)【株主資本等変動計算書】

第32期(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	57,079,782	64,420,372	111,153,216
当期変動額									
剰余金の配当							26,807,312	26,807,312	26,807,312
当期純利益							12,762,244	12,762,244	12,762,244
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計							14,045,068	14,045,068	14,045,068
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	43,034,713	50,375,303	97,108,147

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,446,576	6,546	1,453,123	112,606,339
当期変動額				
剰余金の配当				26,807,312
当期純利益				12,762,244
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	48,009	6,546	41,462	41,462
当期変動額合計	48,009	6,546	41,462	14,003,605
当期末残高	1,494,586		1,494,586	98,602,734

第33期(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	43,034,713	50,375,303	97,108,147

当期変動額									
剰余金の配当							26,595,731	26,595,731	26,595,731
当期純利益							11,351,928	11,351,928	11,351,928
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計							15,243,802	15,243,802	15,243,802
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	27,790,911	35,131,500	81,864,344

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,494,586	1,494,586	98,602,734
当期変動額			
剰余金の配当			26,595,731
当期純利益			11,351,928
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)	9,673	9,673	9,673
当期変動額合計	9,673	9,673	15,253,476
当期末残高	1,484,913	1,484,913	83,349,257

## [注記事項]

## (重要な会計方針)

## 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

## (1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

## (2) その他有価証券

## 時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

## 時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

## 2. 固定資産の減価償却の方法

## (1) 有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 5年～50年

器具備品 2年～20年

## (2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

## 3. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理し

ております。

#### 4. 引当金の計上基準

##### (1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

##### (2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

##### (3) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

##### (4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

##### (5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

##### (6) 時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

#### 5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

##### (1) 消費税等の会計処理

税抜方式を採用しており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当事業年度の費用として処理しております。

##### (2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

#### (未適用の会計基準等)

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 平成30年3月30日 企業会計基準委員会）
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日 企業会計基準委員会）

##### (1) 概要

国際会計基準審議会（IASB）及び米国財務会計基準審議会（FASB）は、共同して収益認識に関する包括的な会計基準の開発を行い、平成26年5月に「顧客との契約から生じる収益」（IASBにおいてはIFRS第15号、FASBにおいてはTopic606）を公表しており、IFRS第15号は平成30年1月1日以後開始する事業年度から、Topic606は平成29年12月15日より後に開始する事業年度から適用される状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、収益認識に関する包括的な会計基準が開発され、適用指針と合わせて公表されたものです。

企業会計基準委員会の収益認識に関する会計基準の開発にあたっての基本的な方針として、IFRS第15号と整合性を図る便益の1つである財務諸表間の比較可能性の観点から、IFRS第15号の基本的な原則を取り入れることを出発点とし、会計基準を定めることとされ、また、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮すべき項目がある場合には、比較可能性を損なわない範囲で代替的な取扱いを追加することとされております。

##### (2) 適用予定日

平成34年3月期の期首から適用します。

(3)当該会計基準等の適用による影響

「収益認識に関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

(貸借対照表関係)

1.有形固定資産の減価償却累計額

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
建物	539,649千円	604,123千円
器具備品	1,029,950千円	1,215,234千円

2.関係会社に対する主な資産・負債

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
預金	47,798,472千円	41,809,118千円
未収収益	46,963千円	40,621千円
金銭の信託	30,000千円	30,000千円
未払手数料	1,993,055千円	1,577,059千円
その他未払金	2,071,256千円	3,850,734千円
未払費用	456,748千円	430,491千円

(損益計算書関係)

1.固定資産除却損の内訳

	第32期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
建物	2,392千円	
器具備品	7,791千円	54千円
ソフトウェア	3,356千円	
計	13,540千円	54千円

2.関係会社に対する主な取引

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第32期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
支払手数料	13,862,465千円	11,380,244千円
受取利息	4,375千円	380千円
法人税、住民税及び事業税	4,204,969千円	3,851,536千円

3.減損損失

当社は、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

第32期（自平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

場所	用途	種類	減損損失
東京都千代田区（本社）	自社利用ソフトウェア （遊休資産）	ソフトウェア 仮勘定	48,575千円

当社は資産運用業の単一セグメントであるため、事業用資産に区別はなく、全社を1つのグループとしております。遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

当事業年度において、将来の使用見込みがなくなった自社利用ソフトウェアについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、回収可能価額として使用価値を用いておりますが、将来の使用見込みがないため、使用価値は零としております。

第33期(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)

該当事項はありません。

(株主資本等変動計算書関係)

第32期(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当事業年度増加 株式数 (株)	当事業年度減少 株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成28年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	26,807,312千円
1株当たり配当額	126,700円
基準日	平成28年3月31日
効力発生日	平成28年6月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成29年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	26,595,731千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	125,700円
基準日	平成29年3月31日
効力発生日	平成29年6月29日

第33期(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当事業年度増加 株式数 (株)	当事業年度減少 株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成29年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	26,595,731千円
1株当たり配当額	125,700円
基準日	平成29年3月31日
効力発生日	平成29年6月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成30年6月27日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	11,363,380千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	53,707円
基準日	平成30年3月31日
効力発生日	平成30年6月28日

（リース取引関係）

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
1年内	678,116千円	678,116千円
1年超	2,030,029千円	1,351,912千円
合計	2,708,145千円	2,030,029千円

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金、譲渡性預金または投資信託に限定しており、金融機関からの資金調達は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は主として投資信託であり、価格変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

内部管理規程に従って月次でリスク資本を認識し、経営会議に報告しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

第32期(平成29年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 現金及び預金	69,212,680	69,212,680	-
(2) 有価証券	36,210	36,210	-
(3) 未収委託者報酬	10,076,022	10,076,022	-
(4) 投資有価証券	24,189,921	24,189,921	-
資産計	103,514,834	103,514,834	-
(1) 未払手数料	4,225,009	4,225,009	-
負債計	4,225,009	4,225,009	-

第33期(平成30年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 現金及び預金	54,140,307	54,140,307	-
(2) 有価証券	19,967	19,967	-
(3) 未収委託者報酬	9,770,529	9,770,529	-

(4)	投資有価証券	26,224,167	26,224,167	-
	資産計	90,154,972	90,154,972	-
(1)	未払手数料	3,905,670	3,905,670	-
	負債計	3,905,670	3,905,670	-

## (注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

## (1) 現金及び預金、(3) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## (2) 有価証券、(4) 投資有価証券

これらはすべて投資信託であり、時価は基準価額によっております。

負 債

## (1) 未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## (注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

区分	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
非上場株式	137,160	137,160
子会社株式	160,600	160,600
関連会社株式	159,536	159,536

非上場株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式及び関連会社株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

## (注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第32期(平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	69,212,680	-	-	-
未収委託者報酬	10,076,022	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	36,210	10,703,761	8,324,138	45,606
合計	79,324,912	10,703,761	8,324,138	45,606

第33期(平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	54,140,307	-	-	-
未収委託者報酬	9,770,529	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	19,967	13,110,758	8,593,680	68,714
合計	63,930,804	13,110,758	8,593,680	68,714

## （有価証券関係）

## 1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（当事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円、前事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載していません。

## 2. その他有価証券

## 第32期（平成29年3月31日現在）

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	17,778,798	15,302,336	2,476,461
	小計	17,778,798	15,302,336	2,476,461
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	6,447,333	6,769,569	322,236
	小計	6,447,333	6,769,569	322,236
合計		24,226,131	22,071,906	2,154,225

## 第33期（平成30年3月31日現在）

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	18,599,111	16,040,884	2,558,227
	小計	18,599,111	16,040,884	2,558,227
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	7,645,023	8,062,990	417,966
	小計	7,645,023	8,062,990	417,966
合計		26,244,135	24,103,874	2,140,260

## 3. 売却したその他有価証券

## 第32期（自平成28年4月1日至平成29年3月31日）

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	122,688	82,146	21,570
債券	-	-	-
その他	3,439,009	176,991	20,678
合計	3,561,698	259,137	42,248

## 第33期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	8,169,769	516,394	105,903

合計	8,169,769	516,394	105,903
----	-----------	---------	---------

#### 4.減損処理を行った有価証券

前事業年度において、有価証券について157,482千円(その他有価証券のその他157,482千円)減損処理を行っております。

当事業年度において、有価証券について102,096千円(その他有価証券のその他102,096千円)減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

#### (退職給付関係)

##### 1.採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度(積立型制度)及び退職一時金制度(非積立型制度)を設けております。また確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

##### 2.確定給付制度

###### (1)退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	第32期		第33期	
	(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)		(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	
退職給付債務の期首残高	2,997,931	千円	3,649,089	千円
勤務費用	199,166		184,120	
利息費用	22,711		27,829	
数理計算上の差異の発生額	40,934		56,895	
退職給付の支払額	183,403		188,683	
過去勤務費用の発生額	653,618		-	
退職給付債務の期末残高	3,649,089		3,729,252	

###### (2)年金資産の期首残高と期末残高の調整表

	第32期		第33期	
	(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)		(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	
年金資産の期首残高	2,678,827	千円	2,698,738	千円
期待運用収益	47,553		48,080	
数理計算上の差異の発生額	7,066		47,759	
事業主からの拠出額	107,823		102,564	
退職給付の支払額	142,532		173,748	
年金資産の期末残高	2,698,738		2,723,393	

###### (3)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

	第32期		第33期	
	(平成29年3月31日現在)		(平成30年3月31日現在)	
積立型制度の退職給付債務	3,471,120	千円	3,374,562	千円
年金資産	2,698,738		2,723,393	
	772,381		651,168	
非積立型制度の退職給付債務	177,969		354,690	
未積立退職給付債務	950,350		1,005,858	
未認識数理計算上の差異	207,810		169,893	

未認識過去勤務費用	615,490	550,128
貸借対照表に計上された負債と 資産の純額	127,049	285,836
退職給付引当金	590,154	720,536
前払年金費用	463,105	434,700
貸借対照表に計上された負債と 資産の純額	127,049	285,836

## (4)退職給付費用及びその内訳項目の金額

	第32期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
勤務費用	199,166 千円	184,120 千円
利息費用	22,711	27,829
期待運用収益	47,553	48,080
数理計算上の差異の費用処理額	54,327	47,053
過去勤務費用の費用処理額	38,127	65,361
その他	28,533	4,780
確定給付制度に係る退職給付費用	295,314	281,066

(注)「その他」は受入出向者に係る出向元への退職給付費用負担額等です。

## (5)年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
債券	62.9 %	62.2 %
株式	33.3	34.7
その他	3.7	3.1
合計	100	100

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

## (6)数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
割引率	0.061～0.90%	0.069～0.67%
長期期待運用収益率	1.5～1.8%	1.5～1.8%

## 3.確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度146,421千円、当事業年度142,105千円であります。

(税効果会計関係)

## 1.繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
繰延税金資産		

減損損失	455,165千円	445,379千円
投資有価証券評価損	242,551	223,512
ゴルフ会員権評価損	295	-
未払事業税	124,367	135,805
賞与引当金	260,374	277,468
役員賞与引当金	11,509	12,235
役員退職慰労引当金	50,969	57,431
退職給付引当金	180,726	220,628
減価償却超過額	19,277	13,690
委託者報酬	217,902	257,879
長期差入保証金	14,803	23,262
時効後支払損引当金	77,490	78,035
連結納税適用による時価評価	236,450	200,331
その他	68,614	82,168
繰延税金資産 小計	1,960,499	2,027,829
評価性引当額	-	-
繰延税金資産 合計	1,960,499	2,027,829
繰延税金負債		
前払年金費用	141,802	133,105
連結納税適用による時価評価	1,447	1,382
その他有価証券評価差額金	659,638	655,348
その他	3	4
繰延税金負債 合計	802,893	789,840
繰延税金資産の純額	1,157,605	1,237,989

## 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳 第32期(平成29年3月31日現在)及び第33期(平成30年3月31日現在)

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

(セグメント情報等)

### [セグメント情報]

第32期(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)及び第33期(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

### [関連情報]

第32期(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)及び第33期(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)

#### 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

#### 2. 地域ごとの情報

##### (1) 営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

## [報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## [報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## [報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (関連当事者情報)

## 1. 関連当事者との取引

## (1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

第32期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	東京都千代田区	2,141,513百万円	銀行持株会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税 役員兼任	連結納税に伴う支払	4,204,969千円	その他未払金	2,071,256千円
親会社	三菱UFJ信託銀行(株)	東京都千代田区	324,279百万円	信託業、銀行業	被所有 直接 51.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	5,983,874千円	未払手数料	716,117千円
						投資の助言 役員兼任	投資助言料	662,992千円	未払費用	352,297千円
主要株主	(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区	1,711,958百万円	銀行業	被所有 直接 15.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	7,878,591千円	未払手数料	1,276,937千円

第33期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	東京都千代田区	2,141,513百万円	銀行持株会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税	連結納税に伴う支払	3,851,587千円	その他未払金	3,850,734千円
親会社	三菱UFJ信託銀行(株)	東京都千代田区	324,279百万円	信託業、銀行業	被所有 直接 51.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	5,528,131千円	未払手数料	665,262千円
						投資の助言 役員の兼任	投資助言料	664,152千円	未払費用	348,142千円
主要株主	(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区	1,711,958百万円	銀行業	被所有 直接 15.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	5,852,112千円	未払手数料	921,796千円

## (注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

連結納税については、連結納税制度に基づく連結法人税の支払予定額であります。

投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

投資助言料については、市場実勢を勘案して決定しております。

上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

## (2) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

第32期(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
----	--------	-----	-----	-------	----------------	-----------	-------	------	----	------

同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ モルガン・スタンレー証券㈱	東京都千代田区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	6,532,238 千円	未払手数料	933,908 千円
-------------	------------------------	---------	---------------	-----	----	-------------------------------	-------------------	-----------------	-------	---------------

## 第33期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ モルガン・スタンレー証券㈱	東京都千代田区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	6,263,571 千円	未払手数料	907,290 千円

## (注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

## 2. 親会社に関する注記

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（東京証券取引所、名古屋証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場）

三菱UFJ信託銀行株式会社（非上場）

## (1株当たり情報)

	第32期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
1株当たり純資産額	466,028.30円	393,935.45円
1株当たり当期純利益金額	60,318.47円	53,652.87円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第32期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

当期純利益金額 (千円)	12,762,244	11,351,928
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益金額 (千円)	12,762,244	11,351,928
普通株式の期中平均株式数 (株)	211,581	211,581

# 独立監査人の監査報告書

平成30年6月27日

三菱UFJ国際投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	弥永 めぐみ	印
--------------------	-------	--------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	青木 裕晃	印
--------------------	-------	-------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJ国際投信株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの第33期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱UFJ国際投信株式会社の平成30年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

平成30年9月5日

三菱UFJ国際投信株式会社  
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大畑 茂 印指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 和田 渉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているeMAXISマイマネージャー1970sの平成30年1月27日から平成30年7月26日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

**中間財務諸表に対する経営者の責任**

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

**監査人の責任**

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

**中間監査意見**

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、eMAXISマイマネージャー1970sの平成30年7月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間(平成30年1月27日から平成30年7月26日まで)の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

**利害関係**

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

平成30年9月5日

三菱UFJ国際投信株式会社  
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大畑 茂 印指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 和田 渉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているeMAXISマイマネージャー1980sの平成30年1月27日から平成30年7月26日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

**中間財務諸表に対する経営者の責任**

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

**監査人の責任**

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

**中間監査意見**

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、eMAXISマイマネージャー1980sの平成30年7月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成30年1月27日から平成30年7月26日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

**利害関係**

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

平成30年9月5日

三菱UFJ国際投信株式会社  
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大畑 茂 印指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 和田 渉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているeMAXISマイマネージャー1990sの平成30年1月27日から平成30年7月26日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

**中間財務諸表に対する経営者の責任**

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

**監査人の責任**

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

**中間監査意見**

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、eMAXISマイマネージャー1990sの平成30年7月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間(平成30年1月27日から平成30年7月26日まで)の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

**利害関係**

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。